

談話室

SASJ 設立 20 周年記念講演会開催記

柳内克昭*

TDK 株式会社

〒272-8558 千葉県市川市東大和田 2-15-7

*kyanagi@jp.tdk.com

(2015 年 6 月 19 日受理)

表面分析研究会は 1995 年 3 月に設立以来、20 周年を迎えました。これを記念して「表面分析法の標準化、これまでのあゆみと今後の展開」と題した講演会および記念祝賀会が開催されました。

1. はじめに

SASJ の会員の皆様と一緒に 20 周年をお祝いしたいとの思いから、SASJ 設立 20 周年を記念して、表面分析研究会設立当時から国際標準を推進して来られた歴代会長と交流を続けてきた韓国の方々による講演と 20 周年を祝賀する祝賀会を企画しました。

記念講演会は 2015 年 2 月 25 日に新橋の航空会館にて開催され、82 名が参加されました。

2. 20 周年記念講演会

まず、はじめに初代会長の吉原先生に「標準化の軌跡」をたどりつつ、VAMAS SCA JAPAN から SASJ が設立された経緯と発展までの歩みを語っていただきました。VAMAS から ISO、口伝から標準化するためには、書き物として残しておくことが大事だということで Journal of Surface Analysis(JSA)を作り、スペクトルデータの共有化のためにデータフォーマットを ISO 化したり、共通化して扱えるように Common Data Processing System, 通称 COMPRO を作ったり、そして、PSA を韓国と交互に開催するなど国際化を図ったりと SASJ の礎を築かれました。

続いて SASJ 設立当時からつながりが深かった韓国の Moon 先生、Kang 先生にも来ていただき、ラマンやエリプソを使った Nano-bio imaging analysis や Ar ion cluster beam に関する最先端について話していただきました。次に後藤先生より「表面分析の絶対計測への道」について数々の思い出を交えてお話しいただきました。当初、筆者は、実行委員長に専念すべく、講演する予定はありませんでしたが、第 4 代会長も「話をしなさい」とどこからともなく聞



写真 1. 初代会長 吉原一紘先生の記念講演。



写真 2. 韓国 DaeWon Moon 先生の記念講演。



写真 3. 第 3 代会長 田沼繁夫先生の記念講演。

こえてきたので話をするようになりました。長年、製造現場の分析をしてきた立場から表面分析等のアプリケーションについて話をさせていただきました。

そして、第3代会長の田沼先生からタイトルは「表面定量分析の標準化の現状と課題」でしたが、VAMASやISO TC201の国内業務委員長として長年、標準化に携わった経験と想いを語っていただきました。そして、最後に第2代会長でISO TC201の国際議長を務められた一村先生にナノテク国際標準化の動きとこれまでの日本の対応や現在進行中の「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築」に関する取り組みについてご紹介していただきました。



写真4. 第2代会長 一村信吾先生の記念講演.

表1 SASJ 設立20周年記念講演会プログラム.

1. 「標準化の軌跡」	吉原 一紘 (オミクロンナノテクノロジージャパン(株)、元物質材料研究機構理事)
2. 「Surface Analysis and its extension to Nano-Bio Analysis」	DaeWon Moon (Department of New Biology, DGIST)
3. 「Interactions between Ar Ion /Cluster Ion Beam and Solid Surface for Practical Surface Chemical Analysis」	Hee Jae Kang (Department of Physics, Chungbuk National University)
4. 「表面分析の絶対計測への道：絶対オージェスペクトル装置製作および測定から絶対二次電子収量計測まで」	後藤 敬典 (産業技術総合研究所中部センター)
5. 「複合解析技術による原子レベルキャラクタリゼーションの製造プロセスへの適用」	柳内克昭 (TDK(株))
6. 「表面定量分析の標準化の現状と課題：物理データベースからシミュレータへ」	田沼繁夫 (物質材料研究機構)
7. ナノテク国際標準化の動きと日本の対応—COMS-NANO活動—	一村信吾 (名古屋大学教授、元産総研副理事長)



写真5. SASJ 設立20周年記念講演会 参加者集合写真.

3. 20周年記念パーティ

次に場所を帝国ホテル 17F のラウンジに移し、SASJ 設立 20 周年の祝賀会が開催されました。韓国からお祝いに駆けつけた 4 名や久しぶりに参加された方々を含め、64 名でにぎやかに行われました。最初に Kang 先生から日本と韓国との交流について、20 年前の田沼第三代会長のエピソードを交えて、韓国表面分析研究会の発展について紹介されました。

そして、20 周年を記念して、これまでの功績に対して会員一同から感謝を込めて初代会長吉原氏に功績感謝状の授与式を行いました。初代会長として表面分析研究会を創設し、今や伝統となっているユニークな Powell Prize を始められ、COMPRO を無償で提供し続けてくださいました。また、無限責任中間法人、一般社団法人と研究会の法人化に尽力されました。このように永年にわたり SASJ の発展に寄与された功績を讃えての授与でした。記念品は、20 周年にちなんだものと SASJ らしい手作りのチケット等をお贈り致しました。

しばし、歓談ののち、Moon 先生の挨拶に続いて、運営諮問委員の鈴木峰晴氏と三浦薫氏から挨拶があり、お二人のなつかしいドラマが面白おかしく語られました。

ここで、SASJ の設立から深く関わりのある方々から届いたメッセージを紹介させていただきました。NIST の Dr. Cedric Powell のメッセージを田沼氏に、志水隆一先生からのメッセージを永富会長に、元松下テクノロジーの大村卓一氏のメッセージは高野みどりさんに、それぞれ代読していただきました。お三方からのメッセージの全文は以下に添付しました。示唆に富んだメッセージで我々のみならず若いメンバーにも大いなる刺激となるものと思います。

最後に永富会長の挨拶の中で若手メンバーが前に呼ばれ、勢ぞろいし、代表のメンバーによってその後の若手研究会へとつながる挨拶が行われました。そして、永富会長の閉会の挨拶で祝賀会もお開きとなりました。

10 周年に続いて、20 周年のお祝いことができました。伝統とともに時代にあった SASJ の発展が 30 年、40 年と続きますよう若い方々に期待して開催記の結びとします。

(写真提供：石川信博氏、吉川英樹氏)



写真 6. 祝賀会であいさつする Hee Jae Kang 先生.



写真 7. 功績感謝状授与式 (どちらが授与しているの?).



写真 8. Powell 先生のメッセージを代読する田沼 元会長.



写真 9. 勢ぞろいした若手メンバーと会長、前会長.

Powell 博士からのメッセージ

I would like to congratulate the Surface Analysis Society of Japan on reaching its 20th anniversary. I believe that the past and present leaders can be proud of their accomplishments in establishing a strong, vibrant, and effective society for surface analysis and its applications in Japan.

I remember several invitations to attend early SASJ meetings as well as other invitations to attend PSA international conferences. SASJ has been effective over the past 20 years in promoting applications of surface analysis for many technologies, improving the capabilities of novice and experienced analysts, conducting round robins to establish improved measurement procedures and instrument performance, and establishing the PSA international conferences to improve communications with other scientists in the world. I have been pleased to see improved quality in the presentations by Japanese (and later Korean) scientists at PSA conferences. I know English is very hard for many Japanese people but skill in English is necessary for Japanese scientists to communicate with Western scientists and to have their work appreciated. SASJ helped many Japanese scientists to improve their presentation skills and the PSA international conferences, in association with ISO/TC 201 meetings, have been a key factor in improving scientific communications with other scientists.

I wish SASJ continued success in the coming years!

Cedric Powell

志水隆一先生からのメッセージ

お祝いのことば

このたび貴表面分析研究会設立20周年の記念祝賀会を催されるにあたり一言お祝いを申し上げますとともに、貴会が果してこられた表面分析に携わる産官学の若い研究者、技術者の方々の育成へのご貢献に深い敬意と賛辞を惜しみません。特に表面分析に関する国際標準化への支援活動は、既存の学協会が果しえなかったところであり、国際標準化にかかわった一人として心から感謝申し上げます。

又、貴会が刊行されている Journal of Surface Analysis は、国際標準化への啓蒙 article を設け、投

稿論文についての査読者と著者との質疑応答を記載して著者のみならず読者の論文内容に対する理解を深める一助とされるなど、その構成は既存の学協会誌の遠く及ばないところであり、発刊にあたってご苦労された吉原一紘氏、田沼繁夫氏をはじめとする関係各位の卓見に賞賛を惜しみません。

貴会の活動は単に学术交流にとどまらず国外の優れた先達の方々の知遇を育ててこられました。とりわけ長友 Cedric Powell 博士の貴会への一方ならぬ思い入れは特筆されてしかるべきでしょう。また隣国の韓国や中国の専門家との深い絆を築いてこられたことも忘れることはできません。本日列席されいらっしゃる Kang Hee Jae, Moon Dae Won 両先生にもこれまでに賜ったご厚誼に厚く御礼申し上げます。

最後にこの祝宴に参列されている若い方々が、貴会の素晴らしい伝統を受け継ぎ、さらに発展させてくださることを祈念してやみません。

「觴(さかずき)を挙げれば、はや夢は新京の祝宴に到る」

まことにお目出とうございます。

平成 27 年 2 月 25 日

志水隆一

大村卓一様からのメッセージ

表面分析研究会の皆様へ

元松下テクニカの大村卓一です。

20周年記念大会おめでとうございます。

プログラムを拝見しながら参加されておられる皆さんの顔を思い出しています。

見回すと皆さんずいぶん自髪やしわが増えました。

VAMAS から数えると 30 年になりますから当然です。

今夜もあの頃と同じように夜明けまで熱い議論が続くでしょうね。

頭の中は昔の儘でいてください。

皆様と一緒にいたということが今も私の誇りです。

感謝申し上げます。

有難うございました。

平成 27 年 2 月 22 日

大村卓一

表2. 表面分析研究会 (SASJ) 年表.

西暦	イベント	会長	副会長
1995	表面分析研究会設立	吉原一紘	一村信吾
1996	第1回 KVS-SASJ (ソウル)	一村信吾	田沼繁夫
1997			
1998	PSA-98(松江)		
1999		田沼繁夫	鈴木峰晴 (井上雅彦)
2000			
2001	PSA-01(奈良)		
2002	無限責任中間法人 表面分析研究会設立		
2003			
2004	PSA-04(濟州島)		
2005	設立 10 周年記念講演会		
2006			
2007	PSA-07(金沢)		
2008	表面分析日台交流(新竹)		
2009	iSAS-09(沖縄) 一般社団法人 表面分析研究会設立		
2010	PSA-10(慶州)		
2011			
2012			
2013	iSAS-13(沖縄) PSA-13(沖縄)		
2014	KoSSA に派遣	永富隆清	大友晋哉
2015	設立 20 周年記念講演会		